**シーン 01**

“次の朝... ナナセとの熱い夜の後...”

“窓から漏れる明かりで目が覚める...”

“僕の体まだ完治していない...”

“腕はまだちゃんと動かせていない...”

“足もよくない...”

“昨夜は...こんな感じだったのか？”

“まあ...この”運動”のせいかな？”

“あの頃の小さな隣人...私の面倒を見てくれると思わなかったな”

“それで...”

“付き合うようになるなんて...”

“この子は病んでいる部分もあるけど...”

“彼女には抵抗できないなー”

“右に顔を向ける”

“愛しいナナセは目をつぶったまままだ寝ている”

“まだ何が起こったか完全に理解できないけど...”

“すべてが突然だった...”

“覚えてない事故のせいで、僕が記憶を失った...と彼女が言ったけど...”

“これから...過去の七年間の思い出を取り戻さなければならない...”

“この7年間、ナナセはずっと僕の面倒見てたし...”

“やっぱり、この状況は悪くないと思う”

“ナナセが寝言を言い始める”

N: ムん... せいじゅろう...もう一回...

“まだ寝てるのか？”

“もう一回って...まさか？！”

“まあいい...”

“これが新鮮なスタートかな？”

“新たにもらったチャンス...”

“それに...僕のそばに、こんな美人がいるなんて、まるで奇跡みたい”

”そう...奇跡だ！”

“そうよ。せいじゅろう、これから一緒に頑張って行こう！”

”ナナセがちゃんと頑張ってるし...”

”もう心配しなくていい...”

”ナナセは青い瞳を開き、僕を見つめる。”

“彼女の眠そうな顔も可愛い！”

1. **おはよう、ナナセ。（＋１）**
2. **もう少し彼女の顔を見つめる。（０）**
3. **疲れているみたい。。、昨夜の”出来事”のせいか？(-1)**

**シーン２ (A)**

N: おはよう、せいじゅろう。よく眠れた？

“ナナセは僕を見て微笑みかける。微笑み返す。”

S: おはよう、ナナセ。君のおかげでぐっすり眠れたよ。

S: この腕はまだうまく動かせないけど...

S: まあ、慣れるまででしょう？

N: 心配しないで、せいじゅろう。私は面倒を見てあげるから、ねえ？

“そうね、文句ないよ。”

**シーン２ (B)**

“なんでだろう？...僕の頭の中は真っ白だ...”

S: …

“彼女の美しさのせい…？それとも...”

N: せ...せいじゅろう...そんなに見ないでよ。

S: ごめん！だって...

S:　いいえ、なんでもない。

S: 腕がまだうまく動かせない...だけだ。

N: もしかして...またマッサージして欲しいの～？

**シーン２ (C)**

S: 疲れているみたいね、昨夜のせいかな？

“ナナセは僕に眉をひそめる。反抗的な目で僕を見つめる。”

N: は？！誘ってるの？

N: 足りなかったの？

“喋る前にちゃんと考えないといけないな...”

“やっぱり彼女に飽きることができない...”

S: 腕がまだ..

N: 心配しないで！私はここにいるからね！

**シーン３**

N: せいじゅろう、来て... ビジュアルノベルの主人公みたいな態度を取らないで。

N: 大好きなナナセにおはようのちゅうして！

**“**ナナセにキスするために、彼女の隣にゆっくり行く。**”**

**“**でも何かが僕をそうしないように妨害する。**”**

”ナナセベッドから立ち上がり、顔を近づけて僕を見つめる。”

“ナナセは僕の腕を見る。”

**”**そして彼女の顔は真っ赤になる**”**

S:　ど... どうした、ナナセ？

N: い...いえ、なんでもないです！せいじゅろう...ごめんなさい！

S: えっ？どいうこと？わからない...

“ナナセは僕の上から僕の腕を見る”

“彼女は僕の腰に体重をかける。”

“こんな時間からシテ欲しいのかな？”

”彼女が屈むとおっぱいが僕の顔に当てる”

//punch effect//

“ナナセが何をしたいのかわからない...、どうしてあんな不安な顔するのかも。。”

“毎朝目を開けたら、こんな景色見れるなんて...悪くない...”

\*カチャ　カチャ　カチャ\*

N: よし！もう心配いらないわ！私の大好きなせいじゅろう！

“なんかおかしい...”

“ちょっと力を使って、腕を見る”

“僕の顔はまだナナセの胸に埋まったまま”

S: はぁ？！ナナセ！またこれか？！

N: ごめんなさい、ごめんなさい、ごめんなさい！

“僕の手首はベッドに縛られていた”

”もうしないでって言ったのに...”

“僕をセックスの奴隷にしたいのか？”

N: ごめん、せいじゅろう。つい習慣で。。.いつもシタあた... 縛っていたので。...

S: シタ？具体的に何を？

N: いいえ！なんでもない！。私はバカだから気にしないで。

N: 私はただ間違っただけなの...

“ナナセは僕の顔から胸をあげて、キスしにくる”

“僕はMじゃないことは理解したくないみたいだ...”

“こんな可愛い女の子に怒られないな”

“彼女の顔は真っ赤なまま。たぶんわざとじゃないと思うけど、毎日これやられたら困る...”

“ナナセは僕から少し離れて微笑む”

N: 今日はどうする、せいじゅろう？

1. **もうちょっと体操しようか？**
2. **朝ごはん持ってきてくれるとうれしい...**
3. **ベッドから脱出したら決めよう...**

シーン４ (A)

S: もうちょっと運動しようか？

“ナナセはニヤける”

N: あら、私の大好きなせいじゅろうまだ満足していないの？

S: 悪くないと思ってさ...

“ナナセは僕の話を止める”

N: まだ早いよ。ちゃんと食べてないと治らないよ。

N: まだリハビリ終わってないわ。

N: 心配しないで！

N: じゃ、起きて起きて、遅くなるよ。今日は私たちの新たなスタート！ドキドキする！”

シーン４(B)

S: 朝ごはん持てくれると嬉しい...

“ナナセは怒った顔で僕を見つめる”

N: バカ！こんな朝からご飯のことばっかり考えてる!

N: 私のどこが足りないの？！

S: いいえ、だから...

S: リハビリやっていたからお腹がすいてきた...

N: 慣れて！今日からずっとこんな感じだからな！

N: 永遠に... //yandere face

“よく考えるとそんなに悪くないかも”

N: 怠惰な男だな、起きないの？

N: それをやらないとご褒美あげないよ.

“ご褒美？まぁ...”

“誘い方を極めている”

S: はーい、行く行く.

**シーン 4 (C)**

S: ベッドから脱出したら決めよう...

“ナナセは顔を近づく”

“彼女の大き胸も近づく”

N: 何を言いたいの？

N: 大好きなナナセのせいでリハビリはにしんどかったの？だから起きれないの？

N: 慣れてね。今日からずっとこんな感じだからな...

N: 永遠に... //yandere face

S: それが聞くと元気が出るね、ナナセ...

“彼女と目を合わすと怖いけど...”

S: 完全に回復するように頑張るから手伝ってくださいね、ナナセ。

N: 言わなくてもやるよ！

N: だから早く！起きてよ！お願い！

“ナナセはいつも僕をビックリさせる...”

“時々彼女はマジ怖い”

“でも時々小さい子どもの真似をする”

S: じゃ、起きる時間だな。

**シーン５**

”起きようとしたら...デジャブは頭によぎる”

“はぁ？！これもーっ？！”

S: ナナセ、面倒をかけたくないけど...

N: どうしたの、せいじゅろう？

”それを言った瞬間彼女の目は脅えだす”

“ナナセ...何かを思い出した気がする”

“彼女はまた何かを忘れているようだ”

“ナナセはまたやっちゃったみたい...”

N: あら！ごめん、それも忘れた...テッヘー

“僕の足首もベッドに縛られていた！”

”ナナセがこの癖を捨てた方がいいと思う”

“懸命に面倒を見てくれている彼女のことを悪く思いたくないから...”

”じゃ今回だけ見逃してあげる”

S: 解いてくる？お願い？

N: はい！今すぐ！

“彼女は僕の足を外すと僕の足を自由に動ける”

“これが再び起こらないといいけど”

N: 朝ごはん作るからゆっくり服を着て.

N: せいじゅろうもちょっと休めばいいよ...とりあえず... //yandere face

“床から服をとる、朝ごはん食べるため早く準備をした方がいい”

“僕の下着を見つからない...ここに置いたはずなのに...”

“ナナセは洗濯箱に入れたかな？”

“でも今下着の代わりがない！”

“見つからなきゃ、どこで探そうか？”

A) ベッドの下

B) 枕の下

C) ソファの上

**シーン６(A)**

“服を脱いだ時ベッドのしたに行ったかな？”

”そうだね、そこに探そう”

”ベッドの下を見る。何もない。”

“くそっ...”

**シーン６(B)**

“ここにないと思うけど...枕の下かな？”

“枕の下を見る”

“ないなー”

**シーン６(C)**

“熱情のせいでソファまで飛んだか？”

“まぁ、見てみよう...”

“部屋にあるソファの上を見る。ない。”

”枕の裏にも見る。”

”ない。”

**シーン７**

”いろんなところに探しても、下着見つからない”

“まだこの箪笥に見てないけど、ここにあるかな？”

”ナナセの物を触っちゃダメだけど...”

“仕方ないか...？”

“今から僕もこの家に住んでるからスペースを共有するでしょう？”

1. **最初の引き出し**
2. **二番の引き出し**
3. **三番の引き出し**

**シーン８(A)**

“じゃ、最初の引き出しに...”

“最初の引き出しをゆっくり開けます。変なものがなっかたらいいけど...”

”ないな。ヘアピンとアクセサリーしかない”

”20歳いの女の子は普通でしょう”

**シーン８(B)**

“二番の引き出し”

”うっ...これが面白いなー”

”二番の引き出しにナナセのブラがいっぱいある”

“わぁ、綺麗だね”

”彼女は本当に細心の注意を払っている。びっくりした。”

“やっぱ、サイズはでっかいなー”

“やめろー、せいじゅろう！集中しろー！”

”ナナセはすぐ来るかもしれない”

”もちょっと見ると問題ないでしょう？”

”いいえ！しっかりしろよ、せいじゅろう！それやばいよー”

**シーン８(C)**

”三番の引き出し...”

”ここに何か現れるのか？！”

”ビンゴ！”

”いいえ、僕の下着じゃないけど...”

“ナナセの下着の引き出しだ！”

“わー、綺麗だな。触ったら絹のように柔らかいでしょう？”

“ちゃんと片付いてるよね。”

“色とデッサンで整理されている”

”下着を大事にしている女の子だね”

”わー、どうする？本当に触りたい”

1. **一枚だけあげてみよう**
2. **触らないままに引き出しを閉める。**

**A)**

“パンツを一枚取るとちゃんとを見る。”

”やっぱ、全然悪くない...”

S: 僕の下着探さなきゃ！

**B)**

”やっぱり触りたいけど...”

“このままで置いてきましょう。”

**シーン９**

“くそー、どこにある？”

“残りの引き出しは一つある”

”この引き出しは開きにくいなー”

カッカッカッ

”全力で引きます”

カッカッカッ

”何回を引くとやっと開ける”

“やばい！”

”さすがナナセ...”

“この引き出しの中で僕の下着があった。おかしいこともあった。”

”僕の下着の上に書いてる紙がある”

”せいじゅろうの下着、大事保存して！”

1. **この女は変だな**
2. **言わないままにこれを保存するつもりか？**
3. **私も彼女のパンツのコレクション始めようかな？**

**シーン10 (A)**

“ナナセは変だなー”

”昨日は絶対変なところまで見れたと思ったけど...”

”僕の下着コンもあるのか？！”

”ここに何かが隠れているか考えると怖くなる...”

“やっぱ...”

**シーン10(B)**

“言わないままにこれを保存するつもりか？”

”変だよそれ...”

“あと...この一枚しかない”

”僕の下着ここから取ったら変態だと思われる...”

“でも隠れていたのはナナセだから、僕のせいじゃない...”

“じゃ...ここに置こうか？後で説明を聞けばいいでしょう？”

**シーン10(C)**

“ほー、ナナセは僕の下着のコレクション始めたみたい、変態だな”

”僕も彼女のパンツのコレクション始めればいいでしょう？”

”彼女のパンツは可愛い、この生地もいい感じ”

”一枚だけ取ったら彼女は気づかないでしょう？”

“パンツがあるところまで腕を伸ばす。”

**シーン１１**

N: せいじゅろう！もう準備できたのか？

N: 朝ごはんはそろそろ食べますよ！

N: なんでそんなに時間かかっているの？手伝ってあげてほしい？

“ナナセの声を着た後僕の心臓は止めそうになった。でも彼女の声はキッチンから来てた”

“彼女はこの僕を見たら驚かないと思うけどさ...”

“リスクを取らないほうがいい”

S: もすぐ行くよ、ナナセ！心配しないで！

“ちょっと待って...”

“最後の引き出しを閉める時に箪笥の後ろに穴を気づく”

“これを見ちゃダメかも... ”

“ナナセが気づかないようにゆっくり箪笥を動く”

“箪笥の後ろに小さいドアみたいな物がある”

“彼女が何を隠しているのかな？”

“お金？日記？パンツ？”

1. **見る**
2. **見ない**

**A)**

“見ることにする”

“何ー？！”

”やばい、怖いこれ”

”ドアの後ろに大人のおもちゃのすげーコレクションがある”

”ディルド、ホイップ、潤滑剤、ギャグボールと...馬のための鎮静剤...?”

“やばいこれ...この女なの頭は変すぎる！”

“天使みたいだったけど...”

”実は悪魔だ！”

”こんなことで何をするつもりはわかんないけど...心配だ”

”これについて彼女と話せばいいか？”

**B)**

“ナナセのプライバシーを侵害しっちゃダメだけど...”

”本当に見て見たい...”

**シーン１２**

N: せいじゅろう！朝ごはんをできたよー！

“ナナセの声近づいてくる...”

S: はーい！行くよー！

”しまった、これを閉めないと...”

“素早く全部見つけたままに片付ける”

“ナナセが部屋に入る,手に...”

”キッチンナイフ？！”

N: 大好きなせいじゅろう！

N: 何をしてるの？遅いよー！

”彼女の目は恐ろしい...ナイフも持ってるし...”

N: 朝ごはん食べましょう！

S: は...はい

N: せいじゅろう？震えているの？

“彼女はナイフで僕を指差します”

S: えっと...ナナセ、そのナイフとどうした？

N: これ？ごめん、ご飯作るために使っていた

N: 汚れているところはあんなに気にしないで

“この女はいつも僕を緊張させる...”

S: 遅れてごめん、探し物があってさ...

N: あら、それが見つけた見たい、変態

“ナナセは卑猥顔をする、後で僕にウィンクをする”

”しまった！取ったパンツを引き出しに返すのを忘れた”

S: えっ...！ごめんなさい、ごめんなさい！

S: 全然違うから！

S: 僕の下着を探していたんだ！それだけ...

N: 今日は私のせいじゅろうは本当に悪い子だね

N: お仕置きしましょうか？

S: お仕置き？！でも僕が何もしてないよ！

S: 僕がただ...

“ナナセは微笑む”

N: まあ、いいよー。今日は服を買いに行こうか？

N: せいじゅろうと初デート！！！

N: 私だけのせいじゅろうと！

”彼女はそんなムードに入ると...やっぱ、信用できない”

”まぁでも新しい服を買うことを全然悪くはない”

S: それがいいけど...最初は...

“僕のお腹が「グゥー」っとする”

S: 朝ごはん食べようか？

**シーン１３**

”たっぷりな朝ごはん食べた後ナナセと新しい服を買うため出かける”

N: いい天気ですね！

“ナナセが幸せそう”

”そうだね...僕は今日...7年ぶり外に出るんだ...”

“僕の顔に当たってる朝日とか、出かけの時のリラックス気分も...忘れていた”

“あの事故は...誰のせいだろう？”

“見つけなきゃ...”

“でもその間に...”

“ナナセとの時間を楽しめればいい！”

”それに...”

“やっぱ、新しい服は買わないといけない...”

“下着ももうちょっと大事にしないと。。”

“外に出かけることをちょっと変な感じがする...”

“今日は彼女と出かけるのは楽しいけど...”

“僕の失われた7年...戻すのは簡単じゃないと思う...”

S: 久しぶりに出かけていなかったからこんな気持ちを忘れていたと思った！

“ナナセの顔は不安そうに見える”

N: せいじゅろうそんな悲しい顔をしないで...

N: 今日からあなたの大好きナナセは毎日あなたを散歩させるの

“散歩？それが犬のことか...？”

“それと、私たちはもうカップルなの？”

”あー、ややこしい！”

N: 落ち着いてせいじゅろう！

S: はい...ありがとう、ナナセ

1. **じゃ、服を買いに行こうか？**
2. **一番近くにあるセックスショップはどこにあるの？**
3. **最初はどこに行こうか？**

**シーン１４(A)**

“今日はいい天気だから散歩するもいいけど,まじ新しい服を買わないと着るものがない”

S: じゃ、服を買いに行こうか？

N: いいよ、私の可愛いせいじゅろう！ナナセに任せて！

N: 私はあなたに合う服を選んでみせる！

N: 特に...いい下着。

N: 試着もも手伝うよ！

“ナナセは腕を開き、ハグする”

“僕の顔は彼女の胸に沈む”

”人に見られていると思う...”

S: ナナセ...

S: えっと...

“ダメだ、ちゃんと息できない、喋れない...”

S: うっっむ...　んぅﾑ！

N: わー、ごめんなさい、せいじゅろう！我慢できなかった...

“僕を放す”

N: デパートに行こう！

“手をつなぎながらデパートに向かう”

**シーン１４(B)**

“彼女は今日美しいなー”

”でも、彼女の秘密のタンスで見たものを忘れられない”

S: 一番近いのセックスショップはどこにあるの？

“しまった！行っちゃだめ！”

”言う前よく考えなかった！”

”これが終わりだ...”

”まだこんなことに話すために心の準備はまだできていないよ”

”ナナセの顔は真っ赤になる、緊張しているそうです”

N: 何の話をしてるい？！、せいじゅろう！

S: あ、いいえ、何でもない

“ナナセにバレたら、僕の人生の事に恐れるだろう”

”ナナセの表情を変わる、僕に微笑む”

N: 可愛いなー、私のせいじゅろうはこんな早い時間から汚いことをがんがえてるな〜

“ナナセは腕を開き、僕にハグする”

“僕の顔は彼女の胸に沈む”

”人に見られていると思う...”

S: ナナセ...

S: えっと...

“ダメだ、ちゃんと息できない、喋ることも...”

S: うっっむ...　んぅﾑ！

N: わー、ごめんなさい、せいじゅろう！我慢できなかった...

“緊張しているままに僕を行かせる”

N: デパートに行こう！

“手をつなぎながらデパートに向かう”

“ギリギリセーフ...”

**シーン１４(C)**

“今日はナナセと初デート...どこに行くこと彼女に決めさせよう”

S: 最初はどこに行けばいい？

N: 今日は私たちの初デート！ずっとこんな日を待ていました！

N: 嬉しいー！！

“ナナセの笑顔はまた変な感じがする”

“ナナセは腕を開き、僕にハグする”

“僕の顔は彼女の胸に沈む”

”人に見られていると思う...”

S: ナナセ...

S: えっと...

“ダメだ、ちゃんと息できない、喋ることも...”

S: うっっむ...　んぅﾑ！

N: わー、ごめんなさい、せいじゅろう！我慢できなかった...

“僕を行かせるけどそんな変な顔はまだそこにある...”

N: デパートに行こう！

“手をつなぎながらデパートに向かう”

**シーン１５**

“歩く時にいろんな人に見られたいるみたい...”

“いいえ、実はナナセは人に見られたいる...”

“まあ、彼女は女神だから...男に見られていることは当然でしょう...”

“僕にちょっと気まずいけど,ナナセは気にしていないみたい”

“実は気づいてないみたい”

“デパートに到着する前に...”

V: ねえ、君可愛いねー

“何これ？誰だこいつ？”

”知らない男はナナセと僕に近づく。彼女を頭から足までをちゃんと見る”

V: 何で君みたいな可愛い子こんなところに一人いるの？

“一人？僕にどうした？”

“ナナセはまたこいつを気づいてないみたい...”

“こんな状況にどうすればいいですか？！”

1. **ごめんだけど、彼女は僕のだ。**
2. **えっと、すみません、彼女は僕と一緒にいる。**
3. **僕を見えねーのかよ？！**

**シーン１６（A）**

“こいつみたいな人ナナセに近づいたダメ”

”僕が守る！”

V: ねえ、可愛い子、もっといい所に行こうか

“彼は彼女の腕をつかむ”

”ナナセは今こいつを気づいて驚く”

N: えぇ？

S: ごめんだけど、彼女は僕のだ

”ナナセの顔は真っ赤になる”

N: せいじゅろうの言った言葉...私は彼のなの...？

“この状況を理解できないのか？！”

V: お前は誰？ボヤ

V: ねえ君、このダサい男を捨てて俺と来い

“彼は僕を悪い目で見る”

V: お前は消えろよー

“その言葉を言った後ナナセを離して僕を押す”

V: 帰れボヤ、女と話しているよ

“これを見るとナナセの表情を変わる”

“やばい、その表情は...”

N: お前...

N: どうして私のせいじゅろうを触ってやがった？！

N: このやろー！

”これがやばそう”

S: ナナセ...いいから帰りましょう

“ナナセはすごく怒ってる”

N: 私のせいじゅろうは誰にも触らせない！

“ナナセは彼に膝で打つ”

”彼は落ちる”

“怒っているナナセは本当に怖い”

V: ごめんなさい...やめてくれ...

V: もう何もしないから...

N: このやろー、私のせいじゅろうに謝れー

“彼が床に落ちたままにナナセに踏まれている”

S: ナナセ、もういいと思う...

N: 気持ち悪い...

V: ごめんなさい！もう邪魔はしないから許して！

“あのキモい男は走って逃げる”

“周りの人はまだ僕達を見ているみたい...”

“ナナセは落ちづいて、僕の隣にくる”

N: 大丈夫、せいじゅろう？

N: 私はあなたを守る！

S: はい...僕は大丈夫、ありがとう後、ナナセ...

S: あいつストカーだと気づかなかったの？

N: えぇ？

N: いいえ、他の人に興味ないわ

N: 私の目はせいじゅろうだけを見ている

N: せいじゅろうは同じことをすればいい

“ナナセは極端な性格を持っている...”

S: じゃ、デパートに行こうか？

S: ここからそろそろだよ

**シーン１６(B)**

“こんなことは初めてなんだけど...”

“ナナセに近づかせない”

V: ねえ、可愛い子、もっといい所に行こうか

“彼は彼女の腕をつかむ”

”ナナセは今こいつを気づいて驚く”

N: えぇ？

S: えっと、すみません、

S: 彼女は僕と一緒にいる。

V: お前は誰？ボヤ

V: 邪魔すんなよー

V: ねえ君、このダサい男を捨てて俺と来い

S: そんな言い方が悪いだけど...

“彼は僕を悪い目で見る”

V: お前は消えろよー,アホー

”ナナセがすごく怒ってる...”

N: 私のせいじゅろうのこと何言いあがった？

“嫌だ、これがやばそう...”

“ナナセがストーカーから腕を解放する”

S: ナ、ナナセ... 帰ろう...

N: 私のせいじゅろうにそんな言い方がやめろー！

“僕は彼女を守るべきだったのに...”

N: 謝れー！

V: なんだお前...　彼女に守られている

V: まじダサいなー

N: 謝れって言ったよ！

V: は、俺の時間の無駄だー

“彼は彼帰るするために回り込む”

”僕はナナセをちゃんと守らなかったせいで...”

“僕は臆病だな...彼女は僕のことにどう思われる？”

N: せいじゅろう、大丈夫？

N: 私はあなたが守る！

S: はい、僕は大丈夫だ、ありがとう

S: そんなやつは近づいた時にあなたを守ってあげなくてごめんなさい...

“ナナセがびっくりするな顔をする”

N: えぇ？

N: 他の人を興味がないから気づかなかったよ

N: あなたに悪い真似をしたまでな

N: 私の目はせいじゅろうだけを見ている

N: せいじゅろうは同じことをすればいい

“ナナセは極端な性格を持っている...”

S: じゃ、デパートに行こうか？

S: ここからそろそろだよ

**シーン１６(C)**

“僕のナナセに何もさせられない”

“ちょっと待って...”

“僕のナナセって...”

“後で考えよー”

“こいつ見たいな奴むかつく...”

“彼は彼女の腕をつかむ”

”ナナセは今こいつを気づいて驚く”

S: おい...

S: 僕を見えねー

のかよ？！

S: 彼女は僕と一緒にいる

“怒ってるままにストーカーに近づく”

V: なに言ってんの？ボヤ

V: 邪魔すんなよー

“彼はナナセの腕を離す”

“彼女が僕の言葉を聞くと驚く”

N: 私のせいじゅろうは私を守っているの？

N: わー、可愛い!

”ナナセはこの状況を理解していないのか？！”

S: もう迷惑かけんなー

“彼に殴ってみる”

”でも彼が躱す”

V: は、邪魔すんなよー、ボヤ

“その言葉を言った後ナナセを離して僕を押す”

V: 彼女と一人きりにしてくれ

“これを見るとナナセの表情が変わる”

“やばい、その表情は...”

N: お前...

N: どうして私のせいじゅろうを触ってやがった？！

N: このやろー！

”これがやばそう”

S: ナナセ...いいから帰りましょう

“ナナセはすごく怒ってる”

N: 私のせいじゅろうは誰にも触らせない！

“ナナセは彼の腰をキックする”

”彼は落ちる”

“怒っているナナセは本当に怖い”

V: ごめんなさい...やめてくれ...

V: もう何もしないから...

N: このやろー、私のせいじゅろうに謝れー

“彼が床に落ちたままにナナセに踏まれている”

”怒っているナナセは怖い...”

“僕に怒らないようにしよう...”

V: このやろー

V: てめーなにしやがって？

N: 立ち上がるなよ

N: 私のせいじゅろうは私のことを守りたかっただけ

“彼女は彼にもう一度キックを与える”

N: 気持ち悪い...

S: ナナセ...もういいと思う...

“周りの人がまだ私たちを見ているみたい...”

“ナナセが落ちづいて僕を見る”

N: せいじゅろう、大丈夫？！

N: あなたはとても勇敢だった!

N: ここにやらせいたいぐらい...

“守ってあげなかったのに、彼女は嬉しそう”

”こんなムードに入るとやばいなー”

S: はい、僕は大丈夫だよナナセ、ありがとう

S: 手伝ってあげなくてごめんなさい...

N: えぇ？

N: あなたが勇気を持って私を守ったよ！

S: 彼がストーカーだと気づかなかったのか？

N: えぇ？

N: 私の目はせいじゅろうだけを見ている

N: せいじゅろうは同じことをすればいい

“ナナセの極端な性格を心配だな...”

“でもキャラが強い美くしい女はいいんじゃないですか？”

S: じゃ、デパートに行こうか？

S: ここからそろそろだよ

**シーン１７**

”もちょっと歩いた後デパートに着く”

“ここの思い出はあんまりないみたい...”

“事故からいろいろ変わったかもしれないね”

”でもこの所にいい思い出があるはず、子供の頃の思い出だと思う...”

N: やっと着いた！せいじゅろうも嬉しいでしょう？

S: このデパートは綺麗だけど...ちゃんと思い出せない...

N: そんな悲しい顔をしないでよ、せいじゅろう。とりあえず今一緒に過ごせる時間を楽しもう！

N: あなたの思い出を戻れなくなかったら...私いい思い出あげるよ〜 //lewd face

“もうそんなことに考えてるなー...”

“あ！そう、彼女のおもちゃのコレクションについて...”

S: ねえ、ナナセ...

1. **おもちゃが好きなの？**
2. **おもちゃの店に行ってみたらどうだ？**
3. **いいえ、何でもない...**

**シーン１８(A)**

“今日を見たことに着いて話をすればいいのかな...”

“僕が彼女の隠れていることを見たと知ったら怒るかも...”

“私の隣人はどう思えばいいかわからない...”

“ゆっくりに話してみようか...”

“ストーカーの時のナナセを思い出すと彼女のリアクションに怖い...”

S: ナナセ、おもちゃが好きなの？

“ナナセが驚くと顔がちょっと赤くなる”

N: お...おもちゃ？

N: どんなおもちゃの話...？

“すごく緊張しているみたい...やっぱ言わなかった方が楽だったかも”

N: おもちゃって...そっち...?

N: 服の方に行こうかな....それがいいでしょう？

S: あ、はい。聞きたかっただけ...

N: うん...

**シーン１８(B)**

“今日を見たことに着いて話をすればいいのかな...”

“僕が彼女の隠れていることを見たと知ったら怒るかも...”

“私の隣人はどう思えばいいかわからない...”

“ゆっくりに話してみようか...”

“ストーカーの時のナナセを思い出すと彼女のリアクションに怖い...”

S: おもちゃの店でも行こうか？

“ナナセが驚くと顔がちょっと赤くなる”

N: お、おもちゃの店？

N: おもちゃを買いたいの？せいじゅろう... //smug

N: 私を知っている店に連れて行く！デカイちん...

S: いいよー！服を見に行こう...

N: っム....

“がっかりしたみたい”

**シーン１８(C)**

“彼女の部屋に見た変なものについてに聞こうかな？”

”僕を意識を失っていたままに...そんな変なもの僕に使われていた...？”

”やばい、考えるだけで怖い...”

“とりあえず落ちついてこのデートを楽しもう...”

N: どうした、せいじゅろう？

S: いいえ、何でもない...

“それを聞くとナナセががっかりしている顔をする”

N: 私に言いたくないことは何だ？

N: 私との秘密は禁止だ //yandere face

N: 私を聞かないと...

“やばい、言うことを気をつかないと...”

S: いいえ、本当に何でもない...

S: 僕はただ、僕たちの最初デートを楽しみたい

N: それが嬉しい！

**シーン１９**

”男性用の服の店に着きます”

N: せいじゅろう、ここにいい服があるよ

N: 今まで持ってた服はもう小さいよー

N: だから新しいのを買おう！

”ちょっと待って”

S: ナナセが知ってることって...

S: 意識を失っていたままに...僕を裸でベッドに縛られいたんだってことか？！

N: えっと、それは...

N: 少しの間... 裸でいたかもしれない...

S: ナナセ...

N: 夜にあなたの裸の姿を見ることを我慢できたなった！

N: 朝にも...

N: 昼にも...

S: まぁ、いい...

”詳しいことを知りたくないかも...”

N: 買う前にこの服を着てみないか？

N: 私をズボンで手伝ってあげるから...

“ナナセが変態な顔をする”

S: いいえ、一人でいいです...

S: 男のドレッシングルームに入れないよ

N: 嫌だ、ひどくしないで、せいじゅろう...

N: 一つでもいい！

S: ダメ、人がいるから危険です。一人でできるから...

N: ずるい！

”周りの人を杵気にせずに子供な真似をする”

N: これは許さないよ、ガードを下げたら...

N: ナナセは復讐を取るよ！ははっー

“怖いなーこの女...”

S: この服を着てくる！

“服を買った後、デパートに歩き回る”

**シーン２０**

N: せいじゅろう！私と一緒に来て！

N: あそこの店に何か買ってくれ！

“ナナセは僕の腕を掴って、店に僕を連れてくる”

“外から見るとこの店は普通の女の服の店に見える”

“多くの階とセクションを持っている”

“でもナナセがあるところにまっすぐに向かってるみたい”

“あー... これは想像をするべきだった...” //cambio de bg

N: 着いたよ！

“ナナセはすごく幸せだ、こんなところに慣れてるね”

”まぁね、このセクション普通じゃないよね...”

“セクシーランジェリーって言うセクションだ”

“大人のおもちゃにもある...”

“僕は前言ったことのせいでここのに来たのか？”

“いやでも...”

“ここにあるランジェリーはナナセを来てもらう考えたら...”

N: どうした、せいじゅろう？

N: ランジェリーはジーと見てるね

N: ナナセは着て欲しいの？

1. **こんなことに興味ない**
2. **こんな服を着ているナナセの姿を見たらどうするか責任取らないぞー**
3. **ここで何をするの？**

**シーン２１(A)**

“ナナセの前に僕の弱点まだ見せちゃダメ”

”まだ百パーセント信用できるかどうかは分からない...”

“この服彼女に見たいけど”

S: こんなことに興味ない

“その言葉を聞いた後ナナセは悲しくなる,涙が出そうになる”

N: 何？！私にもう興味ないの？！

N: 私はただあなたのために可愛くなりたかったわよ、せいじゅろう...

N: 私のことに興味ないってこと気づいていなかった...

S: ナナセ...　そんな意味で言ってないよ

S: 僕はただ...

“やばい、周りの人に見られている”

“これを続いたらまずい、僕は悪役に見える”

N: 私のせいじゅろうに嫌われてる！！

S: いいえ、違いますよ、ナナセ！

S: 服を見てみようー

S: 僕はあなたと一緒に行くから

“ナナセは笑顔で僕を見る”

N: 本当？

S: もちろん！

N: イエイ！大好きだよ、せいじゅろう！

”危なかったな...”

**シーン２１(B)**

“僕はやっぱり...我慢できない...”

“死ぬほどランジェリーを着ているナナセを見たい！”

”彼女のカーブ... その大き胸も...”

“断れるわけないでしょう？”

S: それがいいけど...

S: こんな服を着ているナナセの姿を見たらどうするか責任取らないぞー

“ナナセが笑う”

N: 私のせいじゅろうは変態だな

N: 私の変態だね

N: 一緒に服を見に行こうか？

S: 断れない...

S: 早く行こう！

“誇張してしまった”

“でも僕は正直だね...”

S: 一緒に行こう、ナナセ

**シーン２１(C)**

”この場所は...どこかに似ている...”

“ちょっとややこしいけど、僕の過去のこと思い出してるみたい...”

“または多分、ナナセの秘密の引き出しに思い出す...”

“思い出したい時に頭が痛くなる...”

S: ここで何をするの？

“ナナセの顔が赤くなる”

N: 一緒に歩き周ろう...

N: 服を買って後でいろいろ買おうかな...

“ナナセはやらしい顔をする”

“大人のおもちゃの話かな？”

”でももういっぱい持ってるよ!”

“服だけだったらいいけど...”

“セクシーなランジェリーがいいなー”

“ナナセはそれを着ている思いだけでいってしまいそう”

N: 一緒に行くの、せいじゅろう？

S: もちろん！行こう

シーン２２

“ナナセはその服を見るとワクワクする”

N: せいじゅろう、ここで待っててね

N: 着てみたい服があるから

S: はい、ここで待てます

“ナナセがシェルフから何枚取るとフィティングルームに入る”

“ほぉ...何が選んだかな...”

”数分後...”

N: ねぇ、せいじゅろう...

N: せいじゅろう...せいじゅろー！

“ナナセの声を低く聞く、フィティングルームから彼女の頭が見える”

“何かあったかな？”

N: せいじゅろう、来てくれ...

S: えぇ？

“ナナセにいるルームに近づく”

S: 大丈夫、ナナセ？

N: ここに入って！

”入る？！僕を...?”

1. **入る**
2. **入らない**

**シーン２３(A)**

“人がいるってか分かってるけど...”

“これが正しくないってこともわかってる”

”けど...”

“我慢するのが大変だな...”

“彼女の胸、彼女のウエスト...”

N: 目を潰したら入って！

”もっと考えずに僕はルームに入る”

“見られてないようにー”

“僕のことストーカーに間違えたらまずい、デパートに入ることを禁止されるかも”

”それはまた... 警察がくるかも...”

“わー、いい。もう決めった...”

シーン２３(B)

“いっぱい人がいる...”

”これをすると問題を与えるかも”

“でも... 我慢するのが大変だな...”

“大丈夫かな？”

S: どうした、ナナセ？

N: 黙って入って、せいじゅろう

S: でも...

N: ダメ！

N: 目を閉じて

“ナナセは僕の腕を掴むルームに入れる”

”しょうがないな...”

**シーン２４**

N: 目を開けていいよ、せいじゅろう

“すげーっ”

”何これ？！”

“想像するべきだったな...”

//Aparece Nanase con traje bdsm

N: どうした、せいじゅろう？ 好きじゃないの？

“何を言えばいい？何でこれを選んだの？”

”これで何が言いたいのか？”

S: 好きじゃないわけない...

S: ただ...

S: びっくりしただけ

“ナナセもびっくりしたみたい”

S: でもあなたは本当にセクシーだね...

N: そうか、じゃもっと普通なランジェリー選ぶよ

N: でもいつかこんなこと見たいに時間を取りましょ〜

S: 後で？

S: どういう意味？

“僕はその秘密を知ってるってことバレたか？”

N: 冗談だよ！

N: そんな顔をしないでよ！

”ナナセは僕に近づく。ハグをすると僕の耳にこの言葉をささやく”

N: 大き声を出さないでよ、誰かにバレちゃうから...

“先に大き声を出していた女が言うけど...”

“でもこんなことをするナナセのせいで...”

“ムラムラしちゃう...”

N: もう一回めを閉じてね

“僕の目を閉じる”

N: ジャジャーン！

N: どう？好き？

“わー、これが天国だ”

N: あなたのためだけにこれを着るよ、せいじゅろう

1. **ナナセ、今すぐあなたを抱きたい**
2. **ナナセ、こんな場所でこんなことしちゃダメ**
3. **僕の隣人は最高だな**

**シーン２５(A)**

“ナナセはすごく美しく見える”

“この服を彼女のために作られていたみたい...”

S: ナナセ... すごくセクシーだな...

“ナナセの顔は赤くなる、だいぶ嬉しそう...”

N: 本当に私は綺麗に見える？

N: 嘘言ってないよね? //puffy cheeks

“嘘言ってるわけないでしょう”

“ここは公共の場ってことわかってるけど...”

“誰かにバレる可能性が高い...”

“それはまた、長い時間に同じルームにいる女のことを心配するかも...”

“僕はもう気にしてない...”

“僕はまだ生きてるだけでも奇跡だ...”

“こんないい時に！”

S: そんなことない！

S: あなたは美人だから嘘わけないでしょう

“ナナセの顔はトマト見たいに真っ赤になる”

S: ナナセ、今すぐあなたを抱きたい

N: あら、私のせいじゅろうはナナセが欲しいの？

N: 私は聞きたかったことだね...

N: あなたを舐めたい... 家に届くまでに我慢できない...

“ナナセは僕に近づく...”

“僕の背中が壁に当たるまで”

“これがしちゃダメ...”

“危ないよ、これ...”

“でもやっぱ、我慢できない...”

“彼女のでかい胸を見ると...”

N: あなたはただリラクスして、せいじゅろう...

N: 私に任せてね...

“ナナセの胸は僕の体にぎゅーっとくる、彼女は僕にキスをする”

”その後、ズボンの上から僕のちんぽを触る...”

“僕はもう石みたいに硬い”

“これはすごく気持ちいぞー”

N: よく楽しんでいるみたいね、せいじゅろう

N: これはただ始まるだな

S: ナナセ...

“彼女は僕のズボンを脱いで、膝で立つ”

**シーン２５（B）**

“ナナセはすごく美しく見える”

“否定できない...”

S: ナナセ、それがすごくいい...

S: けど...

S: こんな場所でこんなことしちゃダメ

S: ここは公共の場

“ナナセがちょっと怒る”

N: 私のことに興味ないの？

N: あなたのために着た服は嫌なのか？

“そんなことないよ！すごく勘違いしてる”

”誰かにバレちゃうかも...”

“それはまた、長い時間に同じルームにいる女のことを心配するかも...”

”彼女に誘惑される”

“僕だけを見ているナナセ...”

“すごいいい体持っている”

”いやだな、何で我慢するのがこんなに難しいの？”

S: そんなことないよ！

S: あなたが大好きだよナナセ、だが...

S: バレたれ...

N: そんなことに心配しないで

N: 静かにすれば問題ないわ

N: あなたを舐めたい、家に届くまでに我慢できない...

N: あなたが欲しい

N: あなたの全部私だけに...

”彼女は近づく”

“僕の背中が壁に当たるまで”

“高い音を出さないほうがいい”

“これは良くない...”

“でもやっぱ、我慢できない...”

“彼女のでかい胸を見ると...”

N: 落ち着いて、せいじゅろう

N: 私のことを楽しんで...

“ナナセの胸は僕の体にぎゅーっとくる、彼女は僕にキスをする”

”その後、ズボンの上から僕のちんぽを触る...”

“僕はもう石みたいに硬い”

“これが気持ちすぎる！”

N: 分かるよね？あなたの体はこれを欲しい

N: 私の体もそうだし...

S: ナナセ...

“彼女は僕のズボンを脱いで、膝で立つ”

**シーン２５(C)**

“これはすげー”

“夢が叶った見たい!”

“僕はまだ昏睡状態にいるかな？”

”それとも夢かな？”

”そんなことを考えてる場合じゃない！”

“ゆっくり楽しんで、せいじゅろう。目の前の景色を眺めろー”

“ナナセが美人すぎる！”

S: ナナセ、この気持ちちゃんと言葉を出来ない...

S: 僕の隣人は最高だな!

“彼女を見ることを止められない”

“彼女の目、カーブ、全体的の姿”

”ここは公共の場だよ...”

“バレるリスクもある...”

”長い時間に同じルームにいる女のことも心配するかも...”

“誘惑される...”

“我慢できるわけない！絶対出来ない！”

”その大き胸を見るだけで...”

“我慢出来ねーー！”

S: そうね！

S: ナナセは最高だ！

S: これは危ないけど...

N: 心配しないで

N: きっと大丈夫だから

N: あなたを舐めたい,　せいじゅろう。家に届くまでに我慢できない！

N: あなたが欲しい

N: あなたを味わいたい...

“ナナセが近づく...”

“僕の背中が壁に当たるまで”

“高い音を出さないほうがいい”

“これは良くない...”

“でもやっぱ、我慢できない...”

“彼女のでかい胸を見ると...”

N: 落ち着いて、せいじゅろう...

N: 私の唇で楽しんで...

“ナナセの胸は僕の体にぎゅーっとくる、彼女は僕にキスをする”

”その後、ズボンの上から僕のちんぽを触る...”

“僕はもう石みたいに硬い”

“これが気持ちすぎる！”

N: ほら、ゆっくりリ体をラクスして

N: 気持ちいさせたいから...

S: ナナセ...

“彼女は僕のズボンを脱いで、膝で立つ”

**シーン２６**

//Empieza el CG

“それをする後、私の下着も脱ぐ。僕のちん子は彼女の目の前に勃ってる”

N: 私のせいでこんなに硬くなるなんて... 嬉しい...

N: 美味しそう...

“ナナセはブラを外すとその大き胸を裸で見える”

N: これを見るのが好きだね？

N: もう我慢できない、せいじゅろう...

N: 大き声を出さなようにしてね...

N: あなたをゆっくりで味わいたいから

”ナナセの舌は僕のちんこの先っぽに近づく”

“ゆっくりに僕の亀頭を舐め始める”

S: 気持ちい、ナナセ...

S: お願い、止めるな...

N: これはただの始まりだよ

N: こんなことをするとあなたがすごく可愛くなる

N: あなたのせいで本当に興奮するよ、せいじゅろう

“ナナセの舌を僕の長さを辿る”

”その後、彼女は唇を僕の先っぽに置く”

”舌で丸を描く...”

S: ナナセ... ん..

N: どうした、せいじゅろう？

N: 止めて欲しいの？

S: いいえ、違う！

“ナナセが僕のちんこをしゃぶってくる”

“すごくうまいな...”

“気持ちすぎて僕の体を震える...”

“落ち着かないと静かにできないかも...”

“誰かかにバレるから”

”ルームのカーテンの下で歩いている人を見ている...”

“バレたらまずい...”

”だけど...”

“遠慮出来ない...”

S: ナナセ、すごくいい...

N: せいじゅろうのためだからね

N: あなたにこれをするのが大ちゅきだ...

“バレる可能性を知ればすごく興奮してしまう”

“ナナセの動きを早くなる”

S: このままを続くと爆発しちゃうよ...

N: ダメ！まだダメだよ、せいじゅろう...

N: もうちょっと楽しませてくれ...

S: あなたの唇をすごく気持ちい...

S: あなたの口の中の暑さもいい...

N: そんなことを言ったらやばい...

N: そうするか分からないわ...

“我慢できない...”

“ナナセの頭を手で掴む”

”僕の腰の動きを早くなる...”

S: はぁ... 気持ちい... ナナセ...

N: 私のせいじゅろうは悪い子だね...

N: 大好きだわ...

N: 硬いよね、せいじゅろう...

N: んんん...

“僕のちんぽをナナセの口に早く動く”

“彼女の目はとてもやらしい...”

S: ナナセ...

S: 準備はいいか？

N: はい... 出していい...

N: 全部... 全部私にちょうだい！

S: んんん...っ!

// cumflash

“僕の精液ナナセの口に溢れる...”

“卑猥な顔をしてるね...”

N: いっぱい出たな...

N: おいしいだね...

N: ちょっとしすぎたかも...

N: でもせいじゅろうはすごく楽しんでいたみたい!

N: 私の髪はボサボサにしたな

S: ごめんなさいナナセ...

“ナナセは僕の溢れた精液を指で取って舌で舐める...”

“彼女は自分の服を探しながら僕を服を着る...”

N: このランジェリーを買う...

N: あなたが気に入ったみたいだからな

“そうだね、ここは”公共の場だ！”

S:ここにいるって忘れてた...

S: 君がやばいな、ナナセ...

N: 褒めてあげなくてもいいけど...

N: 家に着いてから続きがあるよ

“ナナセは僕にウインクする”

“じゃ、誰かに気づかないように出よう...”

“危なかったけど楽しかった...”

//Acá termina la CG

**シーン２７**

“デパートの冒険が終わった後、一緒に外に出る”

S: やっと新しい服を買った！

S: 下着は一番心配していた

N: 嬉しい、せいじゅろう？

“僕は嬉しい？”

”難しい質問だな...”

“ナナセと一緒にいるとすごく楽しい...”

“それは否定できない”

“彼女は僕を幸せにするためにすごく頑張ってる”

“変な真似をしても僕のことを心配してくれる...”

“本当に頑張ってる...”

“と思ってるけど...”

“だが...”

“...”

“事故のことにしか考えられない”

“自分のことをもっと知りたい、僕の過去のことも知りたい”

“事故の前にどんな生活をしていたのか？”

”でもそれを知るのもちょっと怖い...”

”頭が痛くなる...”

1. **頭がちょっと痛いけど...**
2. **僕は今すごく楽しんでいる**
3. **僕の記憶を戻るまで「嬉しい」と言えない**

**シーン２８(A)**

S: あなたと一緒にいる時は楽しい...

S: 頭がちょっと痛いけど...

“ナナセは心配しているな顔をする”

N: 気分が悪いの？

N: どうした？

N: 休みたいなら言ってね...

“ナナセをこんなに心配させたくない...”

“僕のために頑張ってるから...”

S: いいえ、そんなに心配しないで、ナナセ

S: ただ...

N: 何？どうしたの？

N: 私になんでも言っていいから...

“いやだ、彼女はすごく心配している”

“こんな時に僕の過去のこと話せばいいかな？”

**シーン２８(B)**

S: もちろん

S: 僕はす本当に楽しんでいる

N: わー、聞きたかった言葉だな！嬉しい

N: あなたの幸せは私の一番願ってることだからね...

S: 僕はありがたい...

S: あなたはこの間に僕の面倒を見てくれたから...

S: 僕のためにをすることにも

S: だが...

N: どうした？

N: あなたは悲しいの？

“ナナセは心配している...”

“僕は彼女を悲しい思い出をさせたくない”

N: 何かあったら私に言えばいいから...

N: 私はただ... 私と一緒に幸せになった欲しい...

“変な質問を聞く時間はないな...”

**シーン２８(C)**

S: 僕の記憶を戻るまで「嬉しい」と言えない

“ナナセは落ち込む...”

S: 僕のためにをしていることを本当にありがたいけど...

S: 僕は... 心配している...

S: 過去のことを忘れられない...

S: 自分のことも何も...

S: 僕は誰？そうすればいいか？何も分からない...

N: やめて、せいじゅろう

N: 私はただ... 私と一緒に幸せになった欲しい...

N: こんなことを言わないで...

“ちょっと厳しかったかな...”

“彼女が心配してくれるのに僕はこの我儘言ってるんだ...”

“こんな時に僕の過去のこと話せばいいかな？”

**シーン２９**

S: 僕は、自分のことをもっと知りたい...

S: 僕の過去...

S: 子供の頃のことも...

S: 事故の前に僕は何をしていたのか？

S: 僕は誰だ？

S: …

S: かすかな記憶があるけど...

S: でも何も繋がらない...

S: ナナセ、悪い思い出をさせたくない...

S: でも、僕の過去の話をしてくれ、なんでもいいから...

S: 僕はアイデンティティーがないみたいなものだ...

“ナナセは悲しい目で僕を見る”

N: そうだね...

N: 私は小さかったけど...

N: 私たちを出かけた時に...

S: それでもいい...

S: 僕たちは付き合っていたの？

N: えっと...

N: 実は...

N: 私はただ...

N: なんか...

N: いやだから...

N: あなたを見ていた！

“子供の頃からヤンデレだったな...”

N: 私は子供だった...

N: あなたは４年年上だったから...

N: 私は恥ずかしがりで...

N: 迷惑をかけたくなかった

N: 毎日あなたのことを見るだけで幸せだった...

“毎日僕を見ていたのか？”

“だったら、彼女は僕のことを詳しくしている”

“だからなぜ...”

S: じゃ...

N: せいじゅろう...

N: 過去のことをあまり考えずに毎日を楽しもう...

N: 過去のことをそんなに考えて欲しくない

N: 起きたばっかりだから...

N: ゆっくりに治ればいい、私の隣に

N: 私があなたを幸せにするはずだから...

N: 私を信じてくれ、ね？

“ナナセは泣きそうになる...”

“これ以上僕の過去について話さないほうがいい...”

“もう頭の中はいっぱい問題がある”

“それ以上...”

“彼女は悲しめさせたくない”

“とりあえず彼女に信じる...”

“諦めないけど...”

S: そうですね、ナナセ...

S: ゆっくりでいい...

“ナナセが微笑む”

N: もう暗くなってる...

N: 今からどこに行く？

S: ちょっと考えよう...

S: ここにいるから...

N: あー、わかった！

“ナナセの目が輝く”

N: この辺に新しいバーがあると思う...

N: そこに行ってみる？

“ナナセの表情が変わる”

N: それとも... 酒に弱いのか？

1. **いいと思うよ**
2. **いいじゃん！行こうぜ！**
3. **僕を酔っ払いさせて僕の体を利用するつもりか？**

**シーン３０(A)**

S: いいと思う...

S: 僕はお酒飲んだことあるかな？

“いいえ、多分飲んでない...”

S: でも...

S: 怖くない！

S: あなたがビビって、ナナセ！

//puffy cheek

N: もー！待ってる...

N: お仕置きしてあげるわ...

N: 言って置くけど、お酒を飲んだら私は...

S: じゃ、僕は何も言ってないていうことにしよう...

“そんなことを言わせると何か起こるのか分からない...”

**シーン３０(B)**

“ナナセと一緒飲むのが楽しそう...”

“ちょっとでもリラクスしたい...”

“僕の初めての飲酒だ...”

“と思う...”

S: いいじゃん！行こうぜ！

N: あら、私のせいじゅろうすごくワクワクしているね

N: あらこんな純粋な私を酔っ払いさせて私の体を利用するつもりか...

“体を利用する？”

”純粋...？”

“僕の体を利用していたは彼女だろう？！”

“いやでも、実は”

“文句は言えない...”

S: さぁ...

“ナナセの顔は赤くなる”

N: せいじゅろうの 変態！

“なんで気に入ってる見たい？”

S: じゃ...

S: 行こうか？

**シーン３０(C)**

S: お酒弱い？僕は？

S: 僕を酔っ払いさせて、僕の体を利用するつもりでしょう？

S: 違うの？

“ナナセはトマト見たいに赤くなる”

N: 違うよ！

N: 私のことを何思ってるの？

“ナナセが恥ずかしいみたい...”

“でも...”

“ドレシングルームに誘ったのは彼女でしょう？”

”はぁ...”

“ナナセのことはまだ理解できない...”

S: あなたの経過の一部かな...

N: さぁ...

N: 私と一緒に行かないと分からない...

S: そうだね...

S: じゃ、行こう...

**シーン３１**

“バーまで歩く。着いてからナナセが選んだ席に座る”

“場所は綺麗”

”電気の光が低い”

“デートにパーフェクトだね”

“ナナセと一緒にの最初デートだからいいんじゃない?”

“いろんな質問頭にくる...”

“でも...”

“ナナセをみったら全部忘れちゃう... そのカーブ、その体、彼女の...”

“おっぱい！”

”この時を楽しもう...”

“メニューを見る”

”よくを見るとこのメニューの中にあることを一つも分からない...”

“一回も飲んだことないと思う”

”エロい名前をついてるドリンクがある...”

S: ナナセ...

S: もう決めた？

“ナナセは決まってない見たいけど...”

N: えっと...

N: 自分のドリンクはせいじゅろう選んでくれ...

N: 私はあなたと違って経験者だから...

N: 自分で選んで経験すればいい！

“ナナセは反抗的な目で僕を見る”

“本当に経験者なの？”

“お酒いっぱい飲んでる女に見えないけど...”

“さぁ...”

“多分...あんまり飲まない方がいい...”

“長い間昏睡状態でいたから、僕の体はどう反応するかどうか分からない...”

N: で？どんなドリンクを注文する？

1. **ブラッディマリー**
2. **ドライマルティニ**
3. **セックスオンザービーチ**

**シーン３２(A)**

“このドリンクが見た目がいい”

S: じゃ、ナナセ、ブラディマリーはどう？

N: ブラディ...

N: このドリンクに...

N: 血がはいてるの？ //Yandere face

N: でもね

N: せいじゅろう...

S: 何？

N: マリーのてめは誰だ？！

N: 子供の頃の彼女かよ？！

N: それだったら...

N: 私はお前を...

S: もういい、ナナセ...

S: もちょっとメニューを見る...

**シーン32(B)**

S: これはどう？

S: ドライマルティニで行こうか？

”ちょっと待って... このセリフどこで...”

N: ドライマルティニ?

N: んん...

“ナナセは変態な顔をする”

N: ドライにしたいものはあなたの...

S: ちょっと待って,ナナセ！

S: 周りに人がいるから

S: ドリンクを選べよう...

**シーン３２(C)**

“このドリンクの名前はちょっと...”

S: ナナセこれはどう？

N: んん...

N: セックスオンザービーチ?

N: まぁ、いいけど...

N: そんなに望むなら海はここからあんなに遠くないよ...

N: 一緒に行けるから、それで...

“勘違いた...”

“彼女は本当に経験者なのか？”

S: 違うよ、ナナセ...

S: それはドリンクの名前...

N: あー！そうだな...

N: あなたのためにテストだったよ... テッヘー...

**シーン３３**

N: で？どっちにする？

“僕の責任にしてる...”

“彼女は全然詳しくないな...”

“僕もそうでも... 僕は7年にずっと昏睡状態でいたけど...”

“じゃ、どっちにする？”

1. **ブラッディマリー**
2. **ドライマルティニ**
3. **セックスオンザービーチ**

**シーン３４**

S: じゃ、これで始めよう...

S: 見た目がいいから...

“味は全く分からないけど、僕は選んだ方がいい...”

N: オッケー！せいじゅろうは選んでいいよ！

N: あなたの初めてだからね...

“ナナセの言葉に迷いが聞こえる...”

“注文したドリンクがくる”

N: んん... 美味しい！

N: 初めて飲んでみた！

“初めて？”

“お前経験者じゃなかったのかよ？”

N: これが大好き...

N: 実はこのドリンクの美味しさは...

N: あなたの精...

S: ナナセ！

N: どうした、せいじゅろう？

S: これが本当に美味しいな...

“危なかった...”

“公共の場にもそんなことよく言えるね... 一杯だけ飲んだのに...”

N: せいじゅろう...

N: もっと欲しい！

N: も一杯注文しよう！

S: 早くないの？

S: まだその一杯は飲んで切ってないよ

“ナナセは僕を挑戦的な目で見る”

N: で？

N: 飲んで切ったわ...

N: もう一杯！

N: お願い... お願い！ね？

“彼女のほっぺもう赤くなった...”

“もう酔っ払っている？”

“酒のエクスパートは酒強いはずじゃなかったのか？”

N: せいじゅろう...

N: もう一杯飲もう...

S: じゃ... もう一杯頼む...

“二番目を注文したのドリンクがくる...”

N: おいしい！

N: でも、私の頭...

N: ちょっとふらふらしてる...

S: 飲むのが早すぎだから...

N: そんなこと言うなー、酒の飲み方は知らないのに...

“あなたもそうだし...”

N: ねぇ...

N: したくなった...

“...”

“ナナセは卑猥な表情で僕を見る”

N: 今ほらあなたと...

“ナナセは僕に近づく”

S: どうしたの？

“ナナセは席に戻ってテーブルのしたに隠す...”

“やばい...”

“テーブルクロスをちょっと持ち上げるとナナセの顔が見える...”

“テーブルのしたから僕を見ている”

“顔赤いな...”

“酔っ払ってるよね！”

S: ナナセ、ここはちょっと

N: もうちょっとあなたを味わいたい...

N: ちょっとだけでいいよ...

“公共でやったばっかりなのに！”

“まだ足りないの？”

”でも今は全然隠してないね...”

“これをやってみたいけど”

“彼女は酔っ払ってる...”

S: ちょっと待て...

S: あなたはちょっとやばいから、ナナセ...

S: じゃ...

S: 何か注文して...

N: もう一杯？！

”彼女は嬉しくなる”

S: ダメ！

S: デザート見たいなものがいいと思う

S: 気分が良くなるかも...

N: 私は平気だもん！

N: せいじゅろうの舐めたい...

N: 本当に大丈夫だから...

“誰かに見られたら僕は大丈夫じゃないけど...”

S: 甘いものを頼んでから...

S: 家に戻って...

N: やるの？！

“実は... 僕もナナセとやりたい...”

“だが...”

“我慢しなきゃ...”

“ナナセは僕の前に座る”

“ナナセを選んだデザートを頼む”

S: 美味しそう...

N: 口に食べ物あげて欲しいの？

N: 口開けて、せいじゅろう...

S: ナナセ、気をつけて...

S: 落とす...

“近づきながら、ナナセの胸をデザートにあるカップを打つかる”

“クリームは彼女の胸にごちゃごちゃする”

“美味しそう...”

N: あら嫌だ...

“ナナセは自分の胸を見る...”

N: 気づかなかった...

“酔っ払ってるから当然でしょう...”

“やらしいイメージだな...”

N: これはもったいないでしょう?

1. **そうだね、舐めてあげる**
2. **ナプキンどうぞ**
3. **心配しないで、見た目がいいから...**

**シーン３５(A)**

S: そうだね...

S: ちょっと近づいて,舐めてあげる

“ナナセは真っ赤になる”

N: 変態だね、せいじゅろう...

N: 前は人がいるから私を止めたのに...

N: でも今は私のおっぱいを舐めたいの？

“酔っ払ってるけどバカじゃない”

S: 美味しそうから

N: とりあえずこれで耐えてくれ...

“ナナセは胸を押して指でクリームをとって舐める”

N: いいな... 本当に美味しい...

“我慢しにくい...”

S: 止めてくれ、ナナセ...

N: 欲しい？

“別のものを欲しいけど...”

“我慢しろー、せいじゅろう！”

**シーン３５(B)**

“ナプキンを取る”

S: どうぞ、ナプキンで拭いて

“ナナセはがっかりする...” #puffycheek

N: 口に食べさせたかったのに...

“何でそんなことを考えられなかったか？！”

“それをしたいけど...”

“ナナセはナプキンで胸を拭く”

**シーン３５(C)**

S: 心配しないで、見た目がいい...

“ナナセは僕に変態な顔をする”

N: 見るだけで十分？

N: 食べてみない？

“ナナセは胸を僕の顔に近づく”

N: せいじゅろう、手伝ってくれ...

“我慢できん...”

“ナナセは酔っ払ってるからこれは正しくない、けど...”

“酒は飲まなくてもこれをするはずでしょう...”

S: 僕もそうしたいけど...

N: 言い訳止めて！

”ナナセは僕の顔を短時間に自分の胸の中に突っ込む”

“クリームはごちゃごちゃしてる...”

”僕の顔を彼女の胸に突っ込みたい...”

N: ははは！面白い顔してる、せいじゅろう”

N: 顔にクリームだらけ！

S: 分かってる...

S: お仕置きのため覚悟してて...

N: 楽しみにしてますよ~

“顔にあるクリームを食べる、後でナプキンで顔を拭く”

シーン３６

S: ナナセ、もう戻った方がいいと思う

N: えぇ？ でもまだ早い...

N: 夜は始まったばっかりだから...

N: もうちょっとここにいよう

”もういいと思う...”

“ナナセは酔っ払ってるから、帰ろう...”

“エクスパートだと言ったのに”

”このエクスパートはもう限界だ...”

“帰った方がいい...”

“エネルギーはまだあるみたいけど、いつか過労で倒すが分からない...”

S: いいえ、このままで帰りましょう...

“ナナセはテーブルの上で倒す”

“僕はどうする？！”

”彼女を目を覚ませる肩から動かす”

“肌が綺麗だね...”

“そんなことに考える暇じゃねー”

“こんな状況にナナセに変なことをするのがダメだ！”

”僕が倒れったら彼女がするでしょうけど...”

S: ナナセ、起きて！

S: もう帰りますよ...

S: ナナセ、もう遅い...

“やっぱダメだ...”

“...”

“...”

“...”

“仕方ないか...？”

“ナナセの耳に囁く”

S: ナナセ、今帰ったら家に着いてからエッチするぞ

“ナナセの目が大きく開く”

N: 何？！エッチ？！

N: あなたとエッチだよね？！

“こんなことを言う前によく考えないといけないみたいね...”

“ナナセの叫びのせいで周りの人に見られてる...”

S: ナナセ、行こう...

N: エッチのことはどうだ？！

S: そんな体調でよくないと思う...

N: ほぉ、私を挑戦してる？

N: 後で証明するわ

“ナナセは立ち上がりながらフラフラする”

S: 家でゆっくりしましょう...

“やっと家に戻る”

**シーン３７**

”部屋に着いてからナナセは着替える、そのあとベットから僕を見る”

S: 何で制服を着ているの？

N: 快適だから...

N: 懐かしいなこれ...

N: あなたのお世話を見ていた時にずっと使ってた服だよ...

N: ここに来て、せいじゅろう...

N: 私のそばに来てくれ...

N: 約束したでしょう...

S: ナナセ、ちょっと休んだ方がいいと思う...

“彼女の顔が赤い、熱がありそう...”

“二杯だけでこんなことになるの？”

N: 休みたくない...

N: 私はただ...

N: ちょっとだけ...

N: 頭痛い...

S: だから、明日まで休みな...

S: もう遅いし

“ドレーシングルームの時のせいで...”

“今は本当にし...”

N: せいじゅろう！

N: せいじゅろう！

S: どうしたの？

N: 頭痛い！

N: それで...

N: で...

N: えぇ？

N: …

N: ここは天国か？！

“何言ってるのこの子？”

N:私の目を見いることは現実か？！

N: せいじゅろうが二人！

S: はぁ？

“酒飲んだせいでダブルで見てる...？”

N: すごいこれ...

N: せいじゅろう二人がいるから色んなことを出来そう...

“ナナセの顔また卑猥だ...”

“そんな体調でもそんなことに考えるの...？”

“ナナセは祝福なの？乗りなの？時々分からなくなる...”

1. **ナナセ、ちゃんと休んで、僕はあなたの面倒を見る**
2. **頭悪いな、あなた**
3. **二人のせいじゅろうでどうするの教えて...**

**シーン３８(A)**

S: ナナセそれは現実じゃない...

S: 休んでくれ

S: 僕はあなたの面倒を見るから

”ナナセはトマト見たいに赤くなる”

N: 本当？

N: せいじゅろう私の面倒を見るの？

N: そんなことを聞いて本当に嬉しい...

“ナナセはびっくりしている見たい”

”まぁ...普通でしょう、彼女はずっと僕の面倒を見ていたから...”

“誰か同じことをされるのが忘れてたかも...”

S: もちろん

S: それぐらいは当然でしょう

S: そう思わない？

“ナナセが本当に嬉しいみたい”

N: ここから立ち上がれられたら...

N: 強いハグをしたい...

“いいえ、これでいい”

**シーン３８(B)**

“ナナセは酔っ払すぎる”

“休むべきだけど...”

“どうすればいいか分からない！”

“彼女は頭おかしい！”

S: 頭悪いな、あなた...

“ナナセはすごく悲しむ”

N: そんなこと言わないえで、せいじゅろう...

N: 酷くしないで...

N: 私はただ甘いたかっただけ...

S: そんな体調でそんなことを出来ないよ、ナナセ

S: それを理解してほしい

S: 酔っ払ってるから！

N: でも、私...

S: リラックスして休んでくれ...

S: 僕に任せて...

**シーン３８(C)**

“せいじゅろうが二人いるってナナセが言った”

”これをしちゃダメだけど...”

“我慢できない...”

S: ねえ、ナナセ

S: 二人のせいじゅろうでどうするの教えて...

“ナナセは僕をシーと見る”

N: ん...

N: 二人の... どうする...？

N: ん...

N: 無限の可能性がある...

N: 二人をハグして...

N: 二人を同時にキスするとか...

N: でもそれ以上...

N: 二人で私に突っ込む！

“想像するべきだった...”

N: 起きてから、三人でいたい...

N: ずっと...

S: でも、ナナセ...

S: あなたの夢を壊したくないけど...

S: 僕は一人いるよ、お酒のせいで僕の二人を見ている

“ナナセはびっくりする、その後で悲しい顔をする”

N: えぇ？本当？

N: 私は色々を想像をしていたのに... #puffycheek

N: でも、本当に二人を見ているよ！

N: でも

N: 一人が居ても私の穴は同時に両方使えるよ...

“ナナセは僕にやらしく微笑む”

”大人のおもちゃの話なの？”

“そうね、彼女のコレクションのことを忘れてた...”

S: とりあえず休んでくれ...

S: 私はあなたが起きるまでここにいるから、ね？

シーン３９

N: せいじゅろう

N: 私は本当に感謝している...

N: 私のためになんて...

S: 何でそんなこと言う？

“何か見逃したの？”

“ナナセは悲しいみたい...”

N: いいえ、何でもない...

N: やっぱり私は体調悪いよね...

N: でもあなたと一緒に居たい

”ナナセはすごく感動しているみたい”

“酒のせいか？別のことなのか？”

“酔っ払いは嘘を付かないとよく言われてる...”

“大人のおもちゃのコレクションのことを聞くのがやめようか？”

“何か隠しているみたい...”

“まだ自分のコレクションのことを話してない”

“まぁ、恥ずかしいかも”

S: ナナセ、明日起きてからちょっと話したい

“ナナセが赤くなる”

N: せ... せい... せいじゅろう

N: あなた...

N: あなたは...

N: もしかして...

“僕はそのおもちゃを見つけったことを知ってる？”

N: 私にプロポーズするつもりか？！

“ナナセの目は興奮で輝いている”

“危なかった...”

“でも... プロポーズ？！”

S: そんな話をするのがまだ早いと思うよ...

“彼女ががっかりする” #puffycheek

N: 結婚しないの？

S: その前に僕は色んなことを思い出したい...

S: 何でも...

S: 思い出したい...

“ナナセは悲しくなる”

N: 悲しまないで、せいじゅろう

N: あなたのナナセはここにいるから...

N: 忘れないで...

N: 私たちは一緒いる

N: ずっと!

“何でそんなひどい言い方を使うの？”

S: ありがとう...

N: で、何の話？

S: 今は休んで...

S: もう夜中の３時だよ

S: 明日はゆっくり話そう...

N: でも、でも...

N: 知りたい！

N: 言ってくれ！

“話をしたら彼女は喜ばないと思うけど”

”でもナナセの反応はいつも想像通り違う...”

“さぁ、どうやってこの話を終われる？”

1. **寝ないとホイップを使うぞ**
2. **今は忘れろ**
3. **良いアイデアができた！**

**シーン４０(A)**

S: ナナセ...

S: 今寝ないとホイップを使うぞ

“ナナセの顔は赤くなるけど...”

“嬉しそう...”

N: 私にホイップを...?

N: じゃ...

N: このままで居たい！

“思ってた言葉と違うけど、文句言わない...”

**シーン４０(B)**

S: 今は忘れろ

S: 明日はゆっくり話す

S: 今は休む時間だ

“何で彼女は僕の言葉を理解できないの?”

N: 酷くしないで...

N: 私はただあなたと一緒に居たいから...

N: 体調悪いから優しくしてくれ

“今言うか？！”

**シーン４０(C)**

S: いいアイデアが出来た！

N: えぇ？何？

#pervface

N: やらしいことを考えてる？

N: 遅い... 私は体調悪いのに...

N: それともやりたいの？

N: 変態だね...

N: まぁ、良いけど、あなたのちん...

S: 待って！ナナセ...

S: それじゃないよ！

“それも良いアイデアだけどね...”

**シーン４１**

“ナナセは寝たくない...”

“体調が悪いのにエネルギーは下がらない...”

“彼女はいつも僕をびっくりする...”

S: じゃ、ゲームしようか？

“多分これで話のことを忘れるかも...”

N: またヴィデオゲームやるの？

N: それをしたらコントロールで私の胸をカーバー出来ない...

“それは楽しかったな...”

S: いいえ、ヴィデオゲームじゃなくて...

S: えっと...

“何が良い...？”

S: そう！謎の本！

N: えぇ？謎ですか？

N: この状態で出来るかどうか分からないけど楽しいかも...

S: じゃ、僕をヒントを言うからあなたは謎の答えを分かったら言ってね

S: 大丈夫?

N: はい、あなたの言うことをする...

S: じゃ...

**三つの謎後**

**シーン４３**

N: 楽しかったね！

N: いつかまたやろうよ！

N: でも私の一番好きな遊びはあなたの...

“ナナセの目が閉まる”

“やっと眠くなったみたい...”

“僕も寝よう...”

“明日は新しい日だから...”

”色々あったけど今日は楽しかった”

S: おやすみ、ナナセ...

**シーン４４**

“翌朝...”

N: せいじゅろう！せいじゅろう！

N: せいじゅろう、起きてるの？！

“ナナセは元気だね...”

“僕はまだ眠い、よく休めなかった”

“でもナナセは元気だそうだ、それで良い”

S: おはよう、ナナセ

S: ちゃんと休めたか？

N: はい！すっきりした！

N: でもね...

N: バーに行った後のことをちゃんと思い出せない...

N: よく分からないけどせいじゅろうと行きましたから昨日は楽しかったはず！

S: 本当に何も思い出せないの？

“僕と同じだね...”

“まぁ、思い出せない方がいい”

“僕はプロポーズするアイデアを忘れていけば良い...”

“後は... 質問のことも忘れているみたい...”

“本当に聞きたいけど...”

S: 昨晩にドリンクを二杯飲んだ後...

S: ナナセの体調は悪くなった

S: それで家に戻った、その後は僕はあなたを寝るまでに一緒に居た

“ナナセはびっくりする”

N: あら、ずっと私の面倒を見てくれたの？

N: 嬉しい...

N: あなたの面倒を見ていた時に思い出すね...

N: 私は寝る前に...

N: ずっとあなたにマッサージをあげて...

N: 完全にリラックスをするためにもあなたのちん...

S: もう良いよ、分かった...

S: とりあえずあなたは元気でいいね

N: 昨日のことを全然思い出せないけど...

“けど...?”

N:ずっと誰かに見られていた感じがしなかった?

S: えぇ？ どう言うこと？

N: 誰が私たちのことを見ていた、近くに...

N: ちゃんとを説明出来ないけど...

N: 昨日が初めてじゃなかった...

“まだ酔っ払ってるの？”

S: 心配しないで、ナナセ

S: デパートに行った時に見たやつと同じことじゃない？

S: 僕はあなたを守るから恐ることはないさー

“ナナセのほっぺが赤くなる”

N: 私のためにやってることを全部、ありがとう...

N: 意識を戻ってよかったね!

N: この数年後...

N: …

“今だ...”

“もう我慢できない...”

“大人のおもちゃについて聞きたい...”

“使ってるの？”

”僕に使っていたの？！”

S: ねえ、ナナセ...

S: 話したいことがある...

S: 昨日、僕の下着を探していた時に...

“ナナセは僕に近づく”

N: 話すための時間いっぱいあるよ...

N: でも、その前に...

“ナナセは唇をしたで濡らす”

N: したくなったわ

N: 私の面倒を見たから感謝したい...

N: 今日は体調は良いから...

N: せいじゅろうは私の中に居てほしい...

N: 私のせいじゅろう

**シーン４５**

“ナナセは僕の前に脱いで始める”

“ブラを外してからスカートとパンツも脱ぐ”

“彼女の素晴らしいお尻僕の前にある”

N: どうぞ、せいじゅろう

N: これがあなたのプライズだよ...

N: 全部あなたの...

“昨日のことについて話したっかたけど...”

“どうやって否定できるこれ？！”

”彼女の行った通り、話すために時間はたっぷある”

“今は...”

“楽しむ時間だ！”

N: 見てることは好きなの？

N: 早く来てくれ~

“ナナセはお尻をバウンスさせる”

“僕は彼女に近づいて腰から掴む”

“僕の手で彼女のカーブを描く”

“綺麗なウエストだね...”

“こんな形式のせいで僕のちんこはもう完全に硬くなってる...”

“ナナセのお尻の真ん中に置く, ゆっくりに動かす”

N: あぁ...

N: 気持ちいこれ...

N: 私の体が暑くなる...

N: もう待たさないでよ...

N: 私の奥にあなたを感じたい...

“見た目だけじゃなくて、彼女の頼みを聞くこともすごくいい”

N: ねえ、お願いから...

S: 行くよう、ナナセ...

“ゆっくりにナナセに突っ込む...”

“あぁ、彼女の中はすごく濡らしてる、興奮していたな...”

”僕も本当にしたかったけど...”

N: あぁ... いい...

N: そう、そのママ、もっと...

“全部入れる前に腰で強く押す”

N: あー！

N: せいじゅろう、奥まで行っちゃった...

S: すごく気持ちい、ナナセ...

S: あなたのなか... すごく濡らしてる...

N: お願い、せいじゅろう... あなたのものにしてくれ...

“ナナセの胸を掴みながら腰を早く動かす”

N: あー... あぁ... あー！

N: んっ...

N: せいじゅろう、硬いな...

N: 大好き...

N: もっと突っ込んでくれ!

N: 止まんないで!

“彼女の胸のグリップを強くする”

“ナナセがこれが好きみたい...”

“そのイケテル表示を見ること僕も好きだ”

N: あー... もっと... 強く...

S: 満足できないな、あなた...

N: あぁ... そう... だね...

N: これ... すごく良い！ 大好き、せいじゅろう！

S: 僕も気持ちい、ナナセ...

“ナナセも自分で腰を動かし始める”

”彼女のお尻を僕に打つかってくる”

N: んん...

S: せいじゅろう...

N: スパンクして... くれ...

“ナナセの動きをどんどん早くなる”

“彼女の鳴き声を聞くともっと興奮ちゃう...”

“僕の右手で彼女のお尻をスパンクする”

N: あぁ... あっ！

N: そう、それ... 続けて！

N: もっと...

N: 強く...

“ナナセの鳴らし声が大きくなる”

“僕もそろそろ爆発しちゃうかも...”

S: ナ... ナナセ...

S: 僕はもう...

S: 限界だ...

N: 大丈夫...

N: お願い...

N: 私に出して!

N: いっぱいにして...

“僕は強く、激しく動かす”

S: ナナセ...

S: 行くよーっ

N: あー！ あぁ...

N: あーあっ！

“その後一緒にイっちゃう”

“ナナセの中を僕の精液でいっぱいになる...”

“二人の... クライマックス”

S: はぁ... それはよかったな...

N: あぁ...

N: 本当にしたかった..

N: 私の大好きな... せいじゅろう...

“ナナセは少ししか話せないくらい疲れてる”

S: ねえ、ちょっと休もう...

//Termina CG

“その後僕たちの服を来てベッドの上に座る”

S: すごかったな...

N: ねぇ、せいじゅろう...

N: 昨日のデートは本当に楽しかったので..

N: えっと...

N: 今度は... どこに行きたいの？

N: まだいっぱいすることがある...

N: 色んなポジションやって見たいし...

“んん、じゃ...”

1. **海にでも行こうか？**
2. **水着を着ているナナセを見たい**
3. **特に行きたいところがない...**

**シーン４６(A)**

“この近くに色んな人気スポットがあると思う...”

“デパートへ行った時にビーチが見たはず...”

“そこは多分...”

S: んん...

S: 海にでも行こうか?

“ナナセは無表情に僕を見る”

N: 水着を着ている女が見たいの？ #puffycheek

N: それは許さないよ！

N: せいじゅろうは私のものだから！

S: 違う、ナナセ！

S: そんな意味で言ってないよ

S: 僕は海に言ってみたい...

S: 天気もいいから...

S: 僕は海に行くことの記憶がない...

“ナナセはちょっと悲しくなる”

N: じゃ、せいじゅろう

N: そうしよう！

N: 明日は海に行く！

シーン４６(B)

”実は、水着を着ているナナセをぜひ見たい...”

“ビーチでセックスも出来るかも...”

“最高！”

S: ぜひ海に行こうよ！

N: 海？

S: 行くこと記憶がないけど...

S: 嘘をつかない、ナナセ...

S: 水着を着ているナナセはぜひ見たい...

“ナナセは赤くなる”

N: あら、そうですか...

N: 私のせいじゅろう本当に変態だね... 私の水着を着ている姿見たいのか...

N: んん...

N: オッケー！

N: 決まりだ！

N: 今度は海に行くことにします！

N: あなたのために買った水着を着てみる！

N: それと...

N: そこにいる時にプレゼントあげるかも...

“まさか...？”

“僕の頭にあることを読めるみたい”

**シーン４６(C)**

“ナナセと出かける時に問題が起こる可能性が高い...”

“今はそんなことを欲しくはない...”

S: 特に行きたいところがない...

“ナナセが悲しくなる”

N: もー、せいじゅろう...

N: そんなこと言わないで!

N: ツンデレな真似をやめてくれ...

S: だって...

N: ほら！

N: 海はどう？

N: 断る権利がないけどね...

S: 怒らないで、ナナセ...

“彼女が怒ったらやばいかも...”

“とりあえず彼女をリラックスさせろ...”

N: これを考えて...

N: 私の新しい水着を見るチャンスだよ！

N: それと... いい子だったら...

N: ビーチのどこかにプレゼントあげるかも~

#Pervface

S: 断れないオッファーだね...

N: じゃ、決まりだ！

N: 私のせいじゅろうと一緒に海に行く〜

**シーン４７**

S: いいね...

S: あっ、それより...

“ナナセの秘密のコレクションのことについてはまだ聞いてない...”

“昨日からずっとそれに集中していた僕...”

“知りたい...”

“もう我慢できない...”

“せいじゅろう、今だ！”

“でも...”

1. **聞く**
2. **止めて置こう**

**シーん４８(A)**

“もう迷わないで...”

“聞けよ！”

“悪いことを起こらないかも...”

S: えっと、ナナセ...

N: どうしたの？

“ちょっとをびっくりさせたみたい...”

S: いや、前も言ったはずだけど...

S: 話かあるって...

S: あなたに聞きたいことがある...

“ナナセが赤くなる、汗もかけてる”

“彼女が僕を聞きたいことを分かってるの？”

**シーン４８(B)**

“とりあえずは止めて置こうか...”

“反応はよくないかも...”

“だから...”

“僕の隣人はヤンデレだ...”

“昨日を思い出すと彼女のリアクションは予測不可能だ...”

“秘密のしよう...”

N: どうした、せいじゅろう?

N: 私に言うべきことがあるの？

N: 言いたいことがある？

S: いいえ、なんでもない...

S: 忘れてくれ...

“ナナセは赤くなる... 汗もかけてる”

“僕はその秘密を知っていることをバレたの？”

**シーン４９(Good Ending)**

N: せいじゅろう...

N: もしかして...

N: もしかして...

S: 大丈夫？

S: ちゃんと話ってくれ...

N: せいじゅろう

N: あなたはもしかして...

“嫌だ、バレたか...”

“これは終わりだ...”

N: あなたは...

N: プロポーズするの？！

“ナナセの笑顔は眩しい...”

“何それ？！”

“酔っ払ってないのに、そんなことに考えてる？”

“それを酒のせいだと思った... 僕はバカだった... ”

S: えっと...

S: 僕は言いたかったことはさぁ...

N: 私たちはずっと一緒にだよ！

N: ずっと...

N: ずっと...

N: 永遠に！

N: 結婚してから、ハニームンに言って、子供も...

S: 違うよ、ナナセ！

”ナナセは僕とを悲しい目で見る”

“僕はちょっと酷かったかも...”

S: そんな顔をしないでくれ...

N: でも... だって...

S: ここに起きてよかったと思うよ

S: 私の面倒を見てくれたナナセにも感謝している

S: あなたと一緒にいる時は楽しい

S: 神様にくれた私いチャンスだと思う

S: まだ先があるよ、僕の記憶も取り戻したい...

S: 僕のそばに居てくれてありがとう...

N: せいじゅろう

N: そんな言葉を聞くと感動しちゃう...

N: 私はただ... あなたは幸せにしたい...

N: 私はできる限りあなたを手伝いたい...

N: 私は頑張るから...

N: 体もあげるよ!

N: そう...

N: もう一回この体を楽しみたいの？

“ナナセは僕に近づく”

S: 僕もしたいけど...

S: でも...

N: 言い訳？

N: 私に抵抗するつもり？

N: 楽しませてあげる...

N: もう一回...

**Chapter 2**

**The End <3**

**The End…?**

**Good Ending**

**シーン５０(Post-Credits)**

S: ナナセ...

S: その前に...

S: 話がある...

N: そうだね！

N: 私に言いたいことがあるでしょう？

S: そう...

S: 昨日の朝にね...

S: 僕の下着を探していた時に...

S: 箪笥の引き出しの中に見ていた時...

#knock knock

S: あぁ、ドアに誰か...

#knock knock

N: えぇ？

N: 誰かな？

N: 私たちの一緒に時間は誰に邪魔をされてる？！

“変だね...”

“誰かな？”

S: 見てくるよ...

“玄関まで行く、ドアを開く...”

#Aparece nozomi

NZ: せいじゅろう、おはよう...

NZ: 私のことを覚えてるの？

The End.

Chapter 3 coming soon

**シーン４９(Neutral Ending)**

N: せいじゅろう...

N: 何か悪いことをしたの？

N: 迷惑をかけるようなことでもした... ？

S: あのさ...

S: ナナセは僕のために頑張っている...

S: でも僕はまだ過去のことしか考えられない...

S: 僕のどんな人生歩んでいたらか、何も知らない

S: 家族もいない...

S: 行く場所もない...

S: この先にどうすればいいかわからなくて...

S: それと...

S: 過去もないさ...

“ナナセは悲しそうに僕を見つめる”

N: せいじゅろう

N: 悲しまないで...

N: 過去のことにそんなに心配しなくていい...

N: 起きたばっかりなのに...

N: この先は人生を楽しむ時間たっぷりある

N: 私はここにいる、あなたを手伝うために

N: 今日のこと過去より大事だよ、未来もね... それを忘れないで

“ナナセの言葉は優しい...”

“でも、足りない...”

S: ナナセ

S: 感謝しているけど...

S: 一人にしないでくれる？

S: 色々考えることがある...

“ナナセはすごく心配してる”

“彼女を傷つきたくないけど、これ以上は何もできない”

N: でも、せいじゅろう

S: お願い...

S: ちょっとだけでもいいから、一人にしてくれ...

N: はい...

N: 幸せにできなくてごめんね...

“涙を流してるナナセは部屋から出る”

“考えることはもうわからない...”

“ちょっと一人で居たい...”

Chapter 2

The End…

Neutral Ending

Try again to get the Good Ending!

Chapter 3 coming soon!

**シーン４９(Bad Ending)**

N: せいじゅろう...

N: もしかして... 私の... 見た...？

“何？！”

“見たの？!”

S: えっと...

S: 昨日、自分の下着を探していたら...

S: 小さい隠れているとこをを見た...　　（Necesito la frase en español)

“ナナセが激動する...”

N: ”知ってたわよ！”

N: “私の回りにウロチョロしていたよね？！”

N: 何で、せいじゅろう？　どうして？

N: 何で私のプライバシーを尊重できなかった？

N: あなたのためにここまでしたのに...

N: 感謝の気持ちはないの？

“体が震え始める”

“彼女は知ってた...”

“反応を確かめた後、聞かなければよかった...”

S: 違うよ、ナナセ...

S: 僕はただ...

N: 逃してあげられないわ、せいじゅろう...

N: 私の秘密はバレたから...

N: 悪いけど、逃がせないわ...

S: えっ？

S: ちょっと待ってナナセ！

S: お願い！

N: もう遅いよ、せいじゅろう...

N: 遅すぎる

N: がっかりしたわ

N: だから..

N: 償還の時間よ... 永遠にね...

”ナナセは僕にせめて、小節で頭を殴る”　（Que lo golpea con qué?)

“すべて...”

“だんだん...”

暗くなっていく...”

“何...”

“起こってるの...？”